

7 今後のワクチン接種において、市と医師会、それぞれの役割と今後やっていかななくてはならないことはありますか？

新型インフルエンザ等対策特別法では、「居住地において、住民基本台帳に記載されているものを対象とした、ワクチン接種を行う体制を構築し、実施していくことが市の役割である。」と規定されていることから、市はワクチン接種の体制を関係機関と連携・協力し、確実に進めていきます。
医師会の役割としては、ワクチン接種の実施とワクチン接種に関する医療的な課題等について市に助言すること、医療機関への情報提供や接種拡大の呼びかけなどがあります。

まとめと要望

ワクチン接種予約システムの運用が一部滞ったことは事実ですが、ワクチン接種の電話予約が「ナビダイヤル」から「フリーダイヤル」に代ったこと、高齢者などに優しい「予約サポート」の取組みを導入したことは大変評価できます。
現在、ワクチンの予防効果の持続期間が未知数ですが、定期的にワクチン接種をする必要性があっても、鎌ヶ谷市内の医療機関でのワクチン接種（個別接種）が大幅に拡充すれば、定期的なワクチン接種も対応可能なのではないかと考えます。

宗川よういちの追跡！

○パルスオキシメーターの導入について

3月会議の一般質問で要望しましたが、この6月会議の補正予算でパルスオキシメーターを10台購入することになりました。



○コミュニティバスの運行計画について

新型コロナウイルス感染症によるバス利用者の大幅な減少により、バス事業者から新たな運行計画の実施が難しい旨の申出書や要望書が提出されたため、令和3年度から予定していた新たな運行計画の実施を見送り、現行の運行を継続することになりました。

新たな運行計画は、新型コロナウイルス感染症が終息し、利用者やバス事業者の経営状況の推移をうかがいながら進めていく必要があると市は考えています。



これにより、市では新たな運行計画の見直しを含め、課題の整理とスケジュールなどについて、現在検討を進めているところですので、結果が出ましたら皆様にご報告いたします。

【新市長誕生に寄せて】

7月18日の市長選挙で芝田ひろみ新市長が誕生しました。新型コロナ感染症の感染拡大を繰り返す中で、非常に難しい市政運営が予想されます。政友会の一員として選挙から応援をしてみたい。これからは立場こそ違いますが、市政運営の実現には、是々非々で引き続き応援をしてみたい。市民のために職員と一緒に頑張って頂きたいと思っております。



鎌ヶ谷市議会議員 宗川よういち
好きです！このまち かまがや！
つながりよう！
~未来のふるさと、かまがやへ~
宗川よういち事務所 〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富3-8-47
TEL・FAX 047-412-2189
E-Mail sohkawa-yohichi@joom.zaq.ne.jp

新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療・福祉関係の方々や生活を維持するため営業を続ける事業者の方々に敬意と感謝を申し上げます。

6月会議では、新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響を軽減するため、国の交付金を活用した事業案など議案9件を可決しました。

新型コロナワクチン接種は、65歳以上の高齢者を対象に5月12日から医療機関での個別接種、5月20日に集団接種が始まりました。
ワクチン接種の予約では「予約が取れない」「電話が繋がらない」などの問い合わせが多くありましたが、集団接種体制の強化により、現在では、一定のワクチンが確保されれば予約は取りやすい状況になってきております。

このような中で、一般質問では、「新型コロナワクチン接種における課題と対策について」として、ワクチン接種の予約システムの課題と今後の接種体制の考え方を取り上げました。

ぜひ、市民の皆様のご意見をお聞かせください。
どうぞよろしくお願いいたします。

そうかわ
宗川よういち

鎌ヶ谷市東初富3丁目在住

宗川よういち プロフィール

- 昭和32年9月 東京都葛飾区新小岩に生まれる
昭和51年3月 千葉県立国分高校卒業
昭和56年3月 中央大学理工学部卒業
昭和56年4月～ 日立プラント建設(株) ((株)日立製作所と合併)
昭和59年4月～ 鎌ヶ谷市役所入庁
平成30年3月 鎌ヶ谷市役所を定年退職
平成30年7月 市議会議員補欠選挙に当選
平成31年4月 市議会議員選挙に当選 (2期目)

現在、議会運営委員会 副委員長
都市・市民生活常任委員会 委員
柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合議会 議員



# I 新型コロナワクチン接種における課題と対策について

## 「ナビダイヤル」から「フリーダイヤル」へ！一本化に！ 鎌ヶ谷市内の医療機関でのワクチン接種を大幅拡充へ！

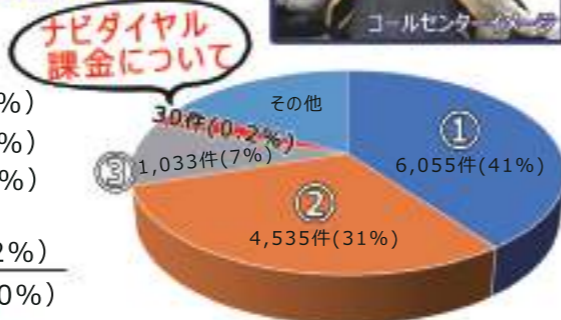
**質問の視点** 新型コロナワクチン接種の予約受付が、5月7日から始まりました。接種予約は、①「新型コロナワクチンコールセンター」へ電話をかける、②パソコン・スマートフォンから予約サイトにアクセスする、③スマートフォンアプリ「LINE」から予約システムにアクセスする という3つの方法があります。

このうち、高齢者が最も利用しやすいのは、①の電話での予約です。この電話予約でのナビダイヤル利用の課題や高齢者などが予約しやすい取組み、さらに今後の接種体制(個別接種と集団接種)の考え方などについて聞いていきました。



### 1 ワクチン接種の予約開始から苦情と要望の件数と内容について

- 5月6日から6月18日まで  
約13,000人の市民の方から約14,600件のご意見があった。
- ① 予約が取りづらいことについて 6,055件 (41%)
- ② 予約方法についての問い合わせ 4,535件 (31%)
- ③ 接種券の発送方法についての問い合わせ 1,033件 (7%)
- ナビダイヤルの課金について 約30件 (0.2%)
- 約14,600件 (100%)



⇒ナビダイヤルの課金についてのご意見は、意外と少ない。

- 5月 6日から5月30日まで 9,243件
- 5月31日から6月 6日まで (一週間) 1,728件
- 6月 7日から6月13日まで (一週間) 1,349件
- 6月14日から6月20日まで (一週間) 654件



⇒集団接種体制の強化により、ご意見などは減少しています。

### 2 ナビダイヤルの課金についてのご意見は意外にも少ない。そもそも、ナビダイヤルに電話をかけると、どの段階から課金されるのでしょうか。

電話がつながり、予約は1番、問い合わせは2番などの案内の後、番号を押した時点から通話料が課金されます。なお、回線が空いてから音声案内が流れるので、待ち時間に課金されることは通常発生しないと聞いています。

**視点1** 6月18日からは、「フリーダイヤル」で接種予約ができるようになりました。



**要望1** ナビダイヤルは携帯電話の「かけ放題プラン」や「通話料定額プラン」の対象外であることを、音声案内や広報、市のホームページなどで市民にお知らせをして欲しい。



### 3 電話予約で「フリーダイヤル」が出来るようになったのに、市民の方からは、なぜ、ナビダイヤルとフリーダイヤルを併用するのかと聞かれます。その理由は？

65歳以上の高齢者の方への個別通知に入れたご案内の中には、ナビダイヤルのみとなっており、ナビダイヤルのみご存知の方も多いために、当面ナビダイヤルを残しております。  
なお、「フリーダイヤル」に移行していただけるよう、ナビダイヤルの音声案内で電話番号をお知らせしております。



**要望2** 今の状態では、高齢者の方は迷ってしまいます。市民の方が迷うことのないように、出来るだけ早く「フリーダイヤル」に一本化して欲しい。

### 4 高齢者（65歳以上）が予約しやすい取組みについて

市によるインターネット入力の代行など、予約の支援をおこなっています。具体的には、「高齢者優先予約サポート申込書」と「接種券」を総合福祉保健センター2階窓口や公民館、コミュニティセンター（一部）など市内9箇所のサポート窓口へ提出して、市が高齢者に代わって予約を行います。  
【市ホームページ、6月25日発行の広報号外を参照】



**視点2** 現在では、高齢者だけではなく、50歳から64歳までの方と基礎疾患がある方などを対象に「予約サポート」が利用できます。

### 5 新型コロナワクチンの免疫効果の持続期間は、一般的にどのように言われていますか。

現段階では、ファイザー社の医療従事者専用サイトの報告によると、ワクチンの予防効果の持続期間はわかっていませんが、今後臨床試験を継続し、情報が得られる予定です。  
なお、厚生労働省のホームページによるとファイザー社製のワクチンの海外で実施された臨床試験後の追跡調査の結果、2回目接種後6カ月後の発生予防効果は91.3%であったという報告でした。

**視点3** 現在のところ、ワクチン接種の効果の持続期間については、未知数です。ワクチン接種の効果を持続させるためにも、今後、定期的にワクチン接種をする必要があるという可能性も出てきます。

### 6 このような状況も踏まえて、今後、市としては集団接種(総合福祉保健センター)と個別接種(病院・診療所などの医療機関)のどちらに力を入れて、ワクチン接種を進めていきますか。

ワクチンの取扱いが容易になることなどにより、個別接種がより実施しやすくなると考えますが、接種対象者が多いことなどから集団接種も並行して行うことが望ましいとして、医師会などと協議してきました。今後は、接種率や予約状況、接種対象者の特性などを見極めながら、接種体制を見直し取り組んでいきます。

**視点4** 鎌ヶ谷市内の医療機関(個別接種)をもっと活用して、ワクチン接種が拡充すればよいのではないかと考えます。